19

株式会社 フタバ

http//www.futaba-coaster.jp/



鮮明な輪郭を表現する凸版印刷

専門メーカーだからできる 多種・多様な紙コースター

平成29年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

CTP製版システムの導入により、品質向上とコストダウンを実現

■ 事業概要

独特の風合いを生かした凸版印刷を強みとするが、フィルム出力が必要な従来の製版方法では細密なロゴやイラスト、文字が入ったデザインを表現することが難しかった。また物理的なやり直しがきかないこともネックとなっていた。コンピューターから直接版を制作できるCTP製版システムの導入により、製版時間を短縮し、修正時もフィルム出力が必要なくなった。作業時間の短縮だけでなく、印刷ロスが減少したことで製版品質の安定にもつながり、品質向上とコストダウンを両立した。



導入したCTP製版システム

課題	取組	成果
●細密なロゴやイラスト	●CTP製版機の導入による	●高品質な商品づくり
●文字が入ったデザインの表現	デジタル技術を生かした製版	●短納期・適正価格での提供

■ 業務内容

こだわり持つ高級飲食店からも依頼が相次ぐ

ホテルや旅館、飲食店向けに紙製コースターを作り始めて約50年の実績を持つ。時代に合ったオーダーメードのデザインにより、顧客の細かなニーズに応えてきた。凸版印刷を手がける企業は少なくないが、同社の特徴は最大５㎜厚のコースターを制作でき、両面印刷も可能なところ。「もっと凹みをもたせたい」「他社では断られた加工をお願いしたい」など、仕上がりにこだわりを持つ企業から注文が相次ぎ、関西のみならず銀座など首都圏の高級料理店から依頼が来ることも多いという。凸版印刷を通じ、ものづくり技術の革新と印刷品質の向上に挑戦する。

多種多様なコースター製造

凸版印刷はオフセット印刷などの印刷方式では表現できない鮮明な輪郭や印圧を表現することが可能で、需要は高まる一方だが、版の質、印圧調整、インキ配分のいずれにも高い知見が求められる。同社では熟練の技術をベテランだけでなく若手が習得し、難しいと言われる「調色」も全員が対応できる。立体感を生み出す「空押し」や「浮き出し」、高級感のある「絹目エンボス」や「箔押し」など、さまざまな加工に対応。コースター制作に必要な抜型の種類も豊富で、一般的な丸型や角丸型だけでなく、楕円形や長方形、多角形など多種多様な紙製コースターを製造できる。



古くとも高い技術力を持つ

■ 強みとビジョン

充実した教育体制

充実した社員教育体制が強み。三上一登社長は凸版印刷という古くとも高い技術力を持つ同社に魅力を感じ、義理の父である先代から会社を譲り受けたが、事業承継当時は古い組織体制に課題を感じていた。社長就任後はビジネス書による社員研修の実施や印刷レシピのとりまとめに力を入れ、若手の育成に注力してきた。「指示される会社から考える会社へ」を合言葉に社員の資格取得にも力を入れ、「１年１人１検定」を奨励。資格取得者には手当を支給し、印刷に関係の深い色彩検定はもちろん、相談によっては簿記検定や衛生管理士の取得も奨励し、社員の積極性を高めている。



フタバは充実した社員教育が強みだ

先端技術の融合でさらなる高みを目指す

「ものづくりを希望して入社してくれた若手が活躍できる場をつくりたい」と、外注に出していた印刷の内製化や新技術の導入にも力を入れる。CTP製版システムの導入もその一環だ。以前だと細かな印刷は凸版印刷ではできないと断っていたが、同システムの導入により細かなデータも忠実に再現できるようになった。確立された凸版印刷の高い技術力と、先端機器の融合でさらなる品質の向上を目指す。



著名企業のナフキンも手がける

継承と革新の積み重ね新しいものづくりを追求



時代の移り変わりと共に、創意工夫と研究を積み重ね、反省と成長、継承と革新を繰り返してきました。これからも「メイド・イン・フタバ」をブランドに、「人財なくして売上無し、売上無くして利益無し」を合言葉にボトムアップをはかります。社内環境を整備し、ものづくりに挑戦する集団であり続けます。



代表取締役
三上 一登

- **社　名**　株式会社 フタバ
- **代表者**　代表取締役　三上 一登（かずと）
- **住　所**　〒592-8335
  堺市西区浜寺石津町東4−8−19
- **ＴＥＬ**　072−245−1160
- **ＦＡＸ**　072−245−1522
- **資本金**　10,000千円
- **従業員**　12名

- **主な取引先**　商社、デザイン会社、飲食店舗、ホテル、旅館、ノベルティ製作会社、学校
- **主な保有設備**　コースター印刷機4台、トムソン加工機3台、ナフキン製造機4台、箔押し機1台、CTP製版システム
- **主力製品**　紙コースター、紙ナフキン、コルクコースター、テーブルマット、ＯＥＭ商品

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　海外対応　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

凸版印刷は紙に圧力をかけた上で色を乗せるため、色が沈むことを前提に色味を調整する調色技術が不可欠。同社では社員に色彩検定を率先して取らせ、全員調色ができるのが強みだ。充実した教育体制に魅力を感じて入社を希望する人も多く、高齢化が進む凸版印刷業界にあって社員の平均年齢は30代半ばと、若返りに成功する。古い凸版印刷の技術を生かし、次はどのようなものづくりに挑戦するのか、成長が楽しみな会社である。